

彩小ふれあいだより

平成22年7月13日

広島市立彩が丘小学校

校長 竹川 智子

三和中里帰り支援活動～町内清掃



7月7日（水）三和中学校3年生による「里帰り支援活動」2時間目です。町内清掃活動を実施しました。里帰り支援活動の内容を考えていた時、「町内清掃をする！」これに決めたきっかけは、2年生の言動からでした。5月、生活科の学習で町たんけんをした時、せせらぎ公園のゴミの多さにおどろいた子どもたちが「先生、ゴミをひろっていい？」自発的に声があがり、みんなでゴミ拾いをしてきたということがあったのです。6月のグリーンネット会議では町内の方から子どもたちのゴミのポイ捨てが平気になっている状況の指摘もありました。現在、お菓子のゴミのポイ捨て、ジュースの空き缶やペットボトルがあちこちに落ちている状況があります。今の状況を少しでも変えなければと思いました。この企画に保護者、地域の方が賛同してくださいました。小学校PTA、中学校地区委員、彩の会、民生委員、青少協からのみなさんです。当日は予想を上回る約40名ほどの方が小中学生と共に地域清掃に加わってくださいました。中には乳母車で参加もありました。

町内を4つに分け、子どもたち、大人も4グループに分かれ、受け持ち地区を決めて出発です。「車に気をつけて、小さな2年生の手をつないで行ってください。」2年生の数の方が少し少ないのですが、だいたい小中学生のペアができました。法面の雨といの穴の中に空き缶、ペットボトルがたくさん突っ込んであります。見えないところにカンなどをかくすのです。高いところは小学生を抱き上げてとらせてくれました。日差しも強く、汗をかきかき、坂をおりたりのぼったり。学校に戻ってきたとき予想以上のゴミが集まりました。地域を愛し大切にする気持ち、ゴミをすてないなどの規範意識、よい関わり方を学ぶ、自分たちを支えてくださる方への感謝の気持ちをもつ、様々なことをねらってのことでした。わずか1時間足らずのことで、どこまで感じてくれたかわかりませんが、表情などから体験をもって学ぶことの大きさを我々は強く感じました。

